



2026年度 Aコースについて

～ 中学入試のおもしろい！をみつけよう～

<ねらい>

入試に出題される重要実験を実際に体験し、**入試理科を楽しく・得意分野**にすることにあります。「**楽しいから学びたくなる**」この姿勢は受験を志す子どもたちにとっても大切なことです。中学入学後にも継続する、本物を学ぶ姿勢の体得を本コースでは目指しています。感動を伴う体験は、学校や塾などの学習に先駆けて経験しておく方が、お子様に効果的に定着する傾向があります。このため、小学校4年生・5年生の方には月2回の受講をお勧めいたします。6年生の内容も4年生でも楽しく理解できるように実施してまいります。

<2026年度 神奈川／東京 中学入試出題傾向 約200校対象> [分析 アインシュタインラボ]

2025年度の入試では地震・小惑星探査・地球温暖化・環境問題・など、現在世界が直面している事象に関する問題が幅広く取り上げられました。分野別の出題傾向に関しては、実験・観察を扱う出題が約8割、化学分野・物理分野では、昨年に続き**9割以上が実験に関する出題**となりました。内容をみると、例年同様 物理・化学・生物・地学分野は、まんべんなく基本問題として出題されています。また、長文や実際のデータを読み、現象の説明・予測をさせる出題が増えています。注意したいところは、各中学校がそれぞれの**特色を出す応用問題**です。興味深い出題例としては、以下のような出題が上げられます。

■中学の理科につながる分野 … 「二酸化炭素の発生・利用」「分子モデルによる記述を理解し回答する」「状態図グラフ（縦軸気圧・横軸温度）から物質の状態を理解し考察する」「宇宙探査機の星間運動・燃料に関するもの」「スペースコロニーについての現状と課題」など

※2025年度は2024年度に続き、中学高校で扱う分野の内容が数多くみられました。

■身近なものからの出題…「熱中症と尿の色の関係」「シャツ汚れの纖維分布からの考察」「虹のつくられる仕組み」「昆虫と紫外線の関係」「生活排水と細菌の呼吸」「火災時のガス/一酸化炭素警報機の仕組み」など…。これらの間に応じるために自分から面白いと興味をもち、現象と現象を関係付けて調べていくなど、分野の壁や教科書にとらわれない積極的な姿勢が大切になってきます。

2026年度のアインシュタインラボの授業では、小学校で行う基本的な実験はもちろん、**最新の時事問題**にも対応できるよう、各分野の**実験**を取りそろえております。お子様の科学的な考え方が自然に育まれ、受験およびその後の将来にきっとお役に立てる自信しております。



卒業生の感想

実験が面白く授業が楽しかった。作ったものを持って帰れて、課題作りに良かったです。受験へのモチベーションが上がりました。(栄光学園合格)



教科書以外の実験も多く体験でき、理科が好きになった。知識も覚えやすくなり、テストでも高得点することができた。通つて良かったです。(聖光学院合格)

保護者の感想

息子が4年生の時、塾の理科がさっぱり分からぬと言いました。理科実験教室を3つほど体験した中で、こちらの教室に決めました。毎月授業の日が楽しみでしかたなかったようです。塾での成績も理科が分からぬと言っていたのに一番の得意科目になりました。本当に助けていただきました。(卒業生 保護者)

とにかく実験が面白かった。実験した単元を学校で習うときは理解が深くなつた。これからも理科を楽しみながら勉強したいです。(横浜サイエンスフロンティア合格)

学校の授業の何倍も、驚きと感動と興奮が味わえました。印象に残る実験がどの授業にもあり本当に楽しかったです。(桜蔭 豊島岡合格)

<Aコースのようす>

